

時間割コード	Q4400905	開講年度	2026				
授業題目	教育方法論【第4欄】					担当教員	小山 茂喜
英文授業名	Methodology of Education						藤井 善章
単位数	1	講義期間	前期(前半)	曜日・時限	火曜・5時限	対象学生	F
講義室	繊維 1 1 番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学習指導要領の変遷を整理した後、すぐれた実践者の授業から教育内容と教育方法を学び、ICTの活用を含めた模擬的な授業を開発する演習を通して、わかる授業の授業設計と実践に向けての基礎・基本的知識と技能を習得します。						
(5)授業のキーワード	学習理論 学力観 教育実践力						
(6)授業計画	第1回：教育方法学をめぐる諸問題について学ぶ(「学力とは何か」)。 第2回：伝統的な学習理論について学ぶ。 第3回：我が国における学習理論の展開について学ぶ。 第4回：教材研究と教材開発について、授業実践例から基本的要素を学ぶ。 第5回：子ども理解と授業設計について、授業実践例から学ぶ。 第6回：授業参観と授業分析の基本を学ぶ。 第7回：教材開発の手法について、具体手的な作業を通して学ぶ。(ICT活用を含む) 第8回：各自の専攻科目に対応した学習計画を作成し、発表する。(ICT活用を含む・グループ学習) 授業アンケート。						
(7)成績評価の方法	各回に課すレポート(50%)と、学習指導案の作成(教材作成を含む)(50%)を総合的に判断して評価する。						
(8)成績評価の基準	規準…概ね目標が達成されているレベル ①…さまざまな教育理論の特徴を理解している。 ②…ICTを活用した教材開発や授業設計ができる。 基準 『かなり上にある』…場面や内容に応じて様々な学習理論を活用した授業設計を行うことができる。学習活動や内容に応じて、デジタル教材を自ら作成したり、ICT機器を活用して授業を設計することができる。 『やや上にある』…深い学びの展開に向けて、さまざまな教育理論を活用した授業設計ができる。						
(9)事前事後学習の内容	さまざまな学習理論に基づいた教育実践記録を見て、教育内容や方法の有効な点と課題について考察し、レポートにまとめる。 ICTを活用して、教材を作成する。 ※この授業は、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	教員免許状取得希望者は、必修です。 公開授業等随時連絡をするので、講義の他に実際の授業実践を参観することが望ましい。 資料をeAlPSにアップするので、必ず確認して学ぶこと。						
(11)質問,相談への対応	オフィス・アワー：講義後等随時対応します。 メールも可。 shigeki@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席	すべての回に出席することが前提です。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	eAlpsに掲載した資料を基に自学自習し、レポートを提出。						
【教科書】	平成29年度版中学校学習指導要領(文部科学省) 平成29年度版中学校学習指導要領解説(理科) 藤井善章・小山茂喜編,「教育実習・介護等体験安心ハンドブック」,学事出版,2026年, また、適宜、プリントや資料を配付しますが、教職教育部のWEBからも必要に応じてダウンロードする。						
【参考書】	田中耕治編,「時代を拓いた教師たち」,ISBN4-8208-0256-9,日本標準,2005年,1800円 田中耕治編,「時代を拓いた教師たちⅡ」,ISBN4-8208-0422-2,日本標準,2009年,2000円 中央教育研究所編,「本当の学力が育つ達人の授業」,ISBN4-487-80026-9,東京書籍,1500円 吉崎静夫,「デザイナーとしての教師 アクターとしての教師」ISBN978-4760892396 ,金子書房,1997年,1600円 グラント ウィギンズ「理解をもたらすカリキュラム設計ー「逆向き設計」の理論と方法」, ISBN978-4820805571,日本標準,2008年,6480円						